

泌尿器科を受診される患者さんへ

研究に対するご理解・ご協力をお願い

練馬総合病院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究は、通常の診療で得られた記録を調べるもので、本研究に参加されることによる患者さんへの新たなご負担は一切ありません。この案内をお読みになり、ご自身が本研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問があります場合、または本研究に『ご自身の診療情報を使ってほしくない』とお思いになれる場合は、後述の「問い合わせ先」までご連絡をお願いいたします。

【対象となられる方】

2012年5月1日～2026年10月31日の間に、練馬総合病院において体外衝撃波結石破碎術（ESWL）を行った方

【研究課題名】

当院における ESWL の治療成績の検討

【主任研究者】

練馬総合病院 泌尿器科 科長 江崎太佑

【目的】

当院では2012年5月より、Storz medical社製の体外衝撃波結石破碎術（ESWL）装置 MODULIS SLX F2 を使用しています。MODULIS SLX F2 による ESWL の治療成績の報告は決して多くありません。当院の800例以上（2020年8月現在）におよぶ症例の治療成績を検討することで、MODULIS SLX F2 での今後の ESWL 治療に大変有用な情報が得られると考えています。

【利用するカルテ情報・資料】

年齢、性別、身長、体重、結石位置、結石サイズ、破碎の成否等

【研究期間】

倫理委員会承認後より2026年10月31日までを予定しております。

【個人情報の取り扱い】

本研究で収集する患者さんの診療情報は、匿名化（どの患者さんの情報であるかが直ちに判

別できないよう、加工又は管理されたもの) データとした上で、解析を行います。患者さん個人と匿名化データを結びつける「対応表」は、当院内の鍵のかかる場所で厳重に保管・管理し院外への持ち出しは行いません。本研究の結果は学会等において公表することを予定しておりますが、その際にも、個人の特定ができないように十分配慮した形で行います。また、本研究のデータは、研究終了後に匿名化のまま廃棄します。

【問い合わせ先】

ご自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合や、途中で研究の対象から除外して欲しいとご希望があります場合は、研究対象とは致しませんので、遠慮なくお申し出ください。ご協力いただけない場合でも、患者さんやそのご家族の方が病気の治療を行う上で不利益を受けることはありませんのでご安心ください。本研究に関するご質問、お問い合わせがあります場合、またはご自身の診療情報について開示・訂正のご希望があります場合には、下記連絡先までお問い合わせください。

皆様のご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

連絡先

練馬総合病院 泌尿器科 科長 江崎太佑 (個人情報管理者・研究責任者)

〒176-8530 東京都練馬区旭丘1-24-1

電話：03-5988-2200 (代表) FAX：03-5988-2250